

2016 Wako's

Super Kart Race Report

開催コース／筑波サーキット（茨城県）
主催／日本スーパーカート協会
開催日／5月29日（日） 天候／晴れ
路面状況／ドライ



WAKO'S スーパーカートカップ第3戦

5月最後の日曜日に開催されたスーパーカートカップ第3戦&筑波シリーズ地方選手権第2戦。まずSK1では、PPスタートの荒木耕一が素晴らしいロケットダッシュを見せて大王、吉野義弘にリードを付ける。しかしさすがは吉野、やがて荒木の背後を抑えるとトップを奪取。3番手は不調が続く保立翔が、久しぶりに本来の走りを見せトップ2台の隙を狙う展開となった。

レース終盤、吉野が逃げ切るか、それとも荒木が差し込むか、はたまた保立がまくるか。誰が勝つか予測がむずかしい状況だが、唐突に荒木の姿が消える。リアタイヤのハブが破損してタイヤが脱落したのだ。裏ストレートエンド付近、170km/hオーバーというハイスピード域で起こったハプニングだった。

三輪状態となりアンコントロールに陥ったマシンを前には名手荒木といえども為す術が無く、そのままタイヤバリアへと突っ込んでいく。

幸い、安全製の高い中空式タイヤバリアだったことで、スピードの割にはダメージは最小限に抑えられた。それでも大きな衝撃により荒木は身体が痺れて動くことが出来なかったようだ。

レースは吉野がそのままトップをキープして開幕戦に続いての2勝目。ちなみに荒木が飛んだことについては全く気づいていなかった。

SK2では山崎尚樹が今季初勝利を下にする。2位の尾川正明が終盤、怒濤の追い上げを見せたのだが、最後まで抑えきってのファーストチェッカーだった。

SK4は桜井晋吾と常磐翔太の勝負。序盤、常盤が桜井に食らいつく善戦を見せるが最終的には桜井に振り切られてしまう。それでも常盤のレベルアップを強く感じることでできたレースだった。



序盤、SK1のトップ争いは吉野と荒木の2台が中心となって展開されていく



SK2を制した山崎尚樹は今季初勝利。後半、タイヤのタレに苦しんだようだ



開幕戦から土つかずの三連勝はSK4 桜井。総合6位に食い込む速さを見せる



最終コーナーでリアハブが折れスピンしながらタイヤバリアまで飛ばされた荒木